月刊 かながわ鉄構協ニュース NO. 152

Tel　045(290)7600
Fax　045(311)7761

固形エンドタブ溶接技能者技量検定試験が実施された

10月29日（土）９時から、全国Mグレード部会連絡協議会による固形エンドタブ検定試験が、神奈川県立西部総合職業技術校（秦野市）において行われた。受験者は、新規16名、更新等28名の合計44名。所属組合別では、神奈川が25名、群馬が11名、東京が６名、千葉が２名。受験者が多いので、密を避けるのと、待機時間を短縮するため、前半（遠方からの受講者が中心）と後半（近隣の受講者が中心）の２グループに分けて実技試験を行った。

はじめに、堀川会長（千葉）が新規受験者を対象とした座学で、固形タブを使用するメリット、固形タブの取り付けやアークスタートの位置、溶接条件、外観検査の注意点などを解説した。

続く実技試験では、新規・更新ともに受験者各自が試験体を組立溶接して製作し、受験番号を刻印してから本溶接に臨んだ。溶接終了後、立会検査員が外観検査を行い、試験体の割れ、アンダーカットなど溶接欠陥の有無について、厳正に審査された。

外観検査を通過した試験体は後日、第三者機関の超音波探傷検査、マクロ試験を経て、判定会議で最終的な合否が判定される予定である。

当日は、堀川会長の他、前田副会長（東京）、小林事務局長（千葉）、神奈川県Mグレード部会から石井・前会長、小原・副部会長、及び青柳、小泉、糀、佐藤、日向の５部会員が運営に携わった。

会場をご提供いただき、当日も立ち会ってくださった神奈川県立西部総合職業技術校の越川先生、ありがとうございました。

性能評価事前研修会が開催された

令和４年度後期の鉄骨製作工場性能評価に申請する３社に対し、11月11日（金）14時から、事前研修会が組合事務所で行われた。講師は小原教育技術委員長、目黒事務局長。他に青柳・榎本・小泉教育技術委員がアドバイザーとして立ち会った。

性能評価において資格証偽造により大臣認定取り消しとなった事案があったことから、工場審査時の資格証確認が徹底されること、全鉄評が策定した「工場審査における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を踏まえて受審すること、審査時間短縮のため、審査員に事前に目を通していただけるよう、審査資料を審査日の２週間前までに当組合を通じて審査員に事前送付することなどの説明があった。

小原委員長からは、全構協のＨＰからダウンロードした「鉄骨製作工場の基準マニュアル集（2022年２月改訂）」をモニター画面に投影しながら、工作基準や検査基準などについて詳細な解説があった。

受審の様子を記録した写真、経営理念を掲示した写真、手作りの会社案内などを回覧したり、各委員のファブの受審の際の審査員との質疑応答などが披露され、申請社と委員とが和やかに会談し、多くの情報や知見を共有できた有意義な研修会であった。

令和５年度に受審予定の皆様へ

申請書様式と記入要領は全鉄評のＨＰに、工作基準などの基準マニュアル集（2022年２月改訂版）は全構協のＨＰの会員コーナーに掲載されています。

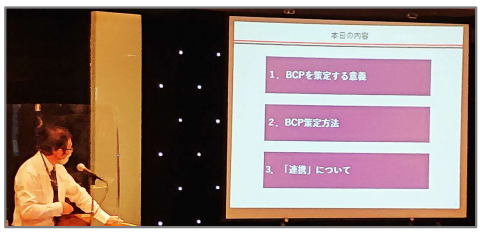
（ユーザー名とパスワードは組合までお問合せください。）

申請書の記載内容が年々細かくなっており、データでの提出や建築士の資格証明がカード形式のものを求められるなど、以前と違っていますので、早めの準備をお願いいたします。

「ＢＣＰ（事業継続計画）・連携事業継続力強化計画」講習会が開催された

喜安英伸氏

令和４年11月19日（土）、ロイヤルホールヨコハマにおいて、標記講習会が開催された。受講者は組合員17社22名。全国鐵構工業協会を通じてお願いした、中小企業基盤整備機構の中小企業アドバイザー、喜安英伸氏が講師を務め、ＢＣＰを策定する意義、ＢＣＰ策定方法、「連携」についての３つの重点項目を詳しく説明した。



最初に近年発生している震災や風水害とともに、今後発生が懸念されている災害を紹介し、ＢＣＰ策定の意義を説明した。次に、事業継続計画の様式を踏まえながら、「ＢＣＰを策定するためには誰の幸せを考えるか、経営的視点やロスなく、いかに事業を継続するかなどに注意しながら取り組むべき」と具体的な指導を行った。さらに、１社では対応しきれない事態に対応する仕組みとして「連携型」計画策定の重要性を強調し、「継続的に取り組み、着実な事業継続の向上に努めてほしい」と述べた。

当組合では、事業継続計画の様式を受講者に事前に配信し、自社の計画策定を促していたため、積極的に質問も出て、講師には丁寧に回答していただき、大変有意義な講習会となった。

その後、コロナ禍でなかなか集まる機会がなかったことから、開催した懇親会において、美味しい食事をいただきながら、コミュニケーションを図り、懇親を深めることができた。

ＲＪＮグレード部会研修会　　【柳川】

令和４年11月11日（金）、当部会研修会として㈱カナヤさんの工場見学会を開催しました。参加者は７人。当部会としては創設以来初めての会員のファブ見学で、私はワクワクが止まりませんでした。

最先端のレーザー加工機や事務所内のＣＡＤオペレーター等の充実ぶりに驚くとともに、社員の皆さんが訪れた我々に対し、自主的に一人一人快く挨拶されたのを見て、金谷社長の日々の采配だなと感心しました。

2019年の台風の高波による膨大な被害・損害や、その後の対策もお話しいただき、今後のＢＣＰ（事業継続計画）に反映できるアイディアが隠されているのかもと感じました。

充実した工場見学会後は横浜中華街大珍楼に会場を移し、見学会の感想を語り合いながら、楽しく懇親を深めました。

関東支部女子職員研修会　　【小宮】

令和４年11月15日（火）、ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテルにて、令和４年度研修会が開催された。10都県12名の組合事務局の女子職員と秋山支部長（新潟県理事長）、また今回は神奈川県が担当ということで、石井理事長と目黒事務局長の総勢15名が参加。秋山支部長と石井理事長はご挨拶のみで退席され、後は、日頃の事務に関する近況報告や情報・意見交換を行った。

その後、30階の個室レストランで、横浜港やベイブリッジなどの景色を楽しみつつ、会食懇談し、親睦を深めた。

なお、当該研修会は性別に関係なく、組合事務職員の情報・意見交換をする場であること及び、今後は「女子職員研修会」の「女子」を削除するという方向性を全会一致で確認した。